



# 2024宮崎プロアマオープン

4月20・21日  
宮崎エースレーン

## 堀井春花 宮崎で開花宣言

九州で唯一のプロ公式戦として、九州のボウラーが楽しみにしていた宮崎オープン、コロナ禍で2020年から中断されていたが、5年ぶりの開催が実現した。デビュー4年目でこの大会は初出場の堀井春花(53期・J-Bowl御坊)が、悲願の初タイトルを獲得した。また総合9位の黒瀬莉乃選手(飯塚第一ボウル)がベストアマに輝いた。(主催：宮崎プロアマオープントーナメント運営委員会/九州ボウリング場連合協議会)



▲「最近インサイドのラインを投げる練習をしてきた」と堀井、それが初タイトルに結びついた

▲2013年にこの大会で3勝目を挙げて以来の優勝が期待されたが、「最後は下手くそなボウリングでした」と小林

初日の予選8Gの上位24名が決勝トーナメントに進出、1回戦から3回戦までは2Gマッチ、準々決勝からは1Gマッチで争われた。

予選の1~6位は2回戦シード、7~12位は1回戦シードだったが、予選1位通過の久保田彩花をはじめ、3位の大久保咲桜、5位の秋光楓、6位の本橋優美らが、自身の初戦となる3回戦で早々に敗退した。さらに予選2位で、前回(2019年)優勝の佐藤まさみが準々決勝で名和秋に212:266で敗れば、予選4位の川口富美恵も小林あゆみに168:244で敗れ、2回戦シード組が準々決勝までに全員姿を消す波乱の展開だった。そしてもうひとつの

準々決勝で、丹羽由香梨に248:189と快勝した堀井春花が準決勝に進出した。

### 準決勝

準決勝は3名が1Gを投球し、上位2名を決勝に選出する。2015年の覇者・名和と2013年の覇者・小林、そして初タイトルがかかる堀井の対戦。レフティーの2人小林と堀井がストライクスタートに対し、②④⑧を残す7本カウントの名和は、これをカバーミスでオープン。「リメンテ直後のレーンで、ドッ速に感じて難しかったです。左の二人も大変そうでしたけどね…」と振り返った名和だが、169に終わり、3位が決定した。

小林は「オイルを読み切れて

いなかった」ものの、8フレからのターキーで198とまとめ1位で勝ち抜けた。ターキースタートの堀井は、後半2つのオープンを作ったが、191で決勝に駒を進めた。

### 決勝

レフティー対決となった決勝だが、小林が大外なら、堀井は内めと、攻めるラインは異なっていた。「右のレーンがオイルが枯れてきて刺さる感じだったので、10フレが左になるように右レーンスタートを選択した」と小林。1フレいきなり⑥をカバーミスでつまずいたのをはじめ、警戒していた右レーンで3つのオープンを作ってしまった。一方の堀井も「左右でまったく違うレーンを投げていると思うぐらい難しかったです」と、なかなか突き放せないでいたが、8フレをストライクのあとの9フレ「5フレでノーヘッドをした残像が

残っていて、ちょっとでも手前で反応してほしくて」ボールをスコピオンに替えたのが功を奏し、渾身のダブルで優勝を手繰り寄せた。小林も9フレから初のダブルで意地を見せたが、堀井が189:171でうれしい初タイトルのゴールに飛び込んだ。



▲準々決勝で敗退の、左から4位・佐藤まさみ、5位・丹羽由香梨、6位・川口富美恵



▲持病の腰痛悪化で先週まで歩けなかったという名和、「いつもの半分ぐらいの力感だったけど、こういうボウリングもありかな」



▲観客の投票によるベストオブレスサー賞を受賞した名和には、完全マンゴーが贈られた



▲3回戦まで進み、総合9位と健闘した黒瀬莉乃選手がベストアマを獲得

### 優勝・堀井春花



宮崎エースレーンの藤元良一社長(左)から祝福を受けた

りを触らないように、内に寄って絞って投げました。私は緊張するとなぜかニヤニヤしてしまうので、周りには伝わりにくいと思うけど、ものすごく緊張して手が震えていました。スバットを通して狙うボウリングをしました。

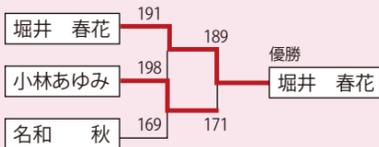
優勝はめちゃくちゃうれしいけど、全く実感がありません。4年目での優勝を周りからはなんとと言われるかわからないけど、私にとっては2度の準優勝もあったし、長かったです。(中島)瑞葵ちゃんをはじめ、同期の活躍が刺激にも焦りにもなっていた。去年の後半は予選落ちが続いて、5年間でタイトルを取れなかったら辞めようかと考えていました。2勝目、3勝目はもちろんしたいけど、デビューから3年間ずっと第2シードなので、今年は第1シードに入れるように、残りの試合も頑張ります。

優勝ボール: ハンマー エフェクト (レジェンダスター)

大会前日のJLBCフェスティバルを含め、日によって内がきかなかったり、外がきかなかったり、コンディションが違って感じたので、その時々で合うボールを探しながら、耐えて、耐えてという感じで、243でなんとか通過できました。せっかく飛行機で来て、1日で終わったら怒られると思って頑張りました。

決勝はリメンテしたてのレーンでしたが、外を投げるとそのまま抜けて行ってしまいますので、5枚よ

#### ●決勝トーナメント



#### ●優勝決定戦

堀井 春花									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
20	40	59	75	84	101	121	150	170	189

小林あゆみ									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	-	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
9	27	35	54	74	93	102	122	151	171